

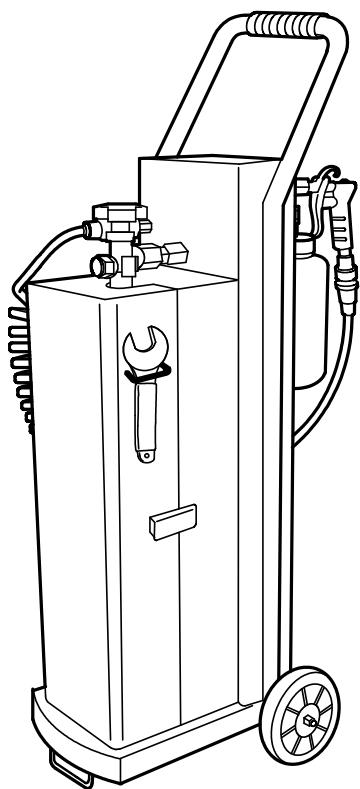
超微粒子スプレー装置

スプライザー・ミニ

SPLIZER

型式 SNA-50S

取扱説明書



このたびは、「超微粒子スプレー装置／SPLIZER」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、超微粒子スプレー装置／SPLIZERをご使用いただくためのガイドブックです。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用下さいますよう、お願いいたします。

なお、お読みになった後は、この説明書を保証書と共に、本機近くの見やすい所に大切に保管して下さい。

目次



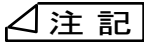
はじめに.....（危険防止のために）	1
お願い	2
安全にお使いいただくための注意事項	3
1. 各部の名称	4
2. 操作パネル部の名称とその働き	5
3. 付属品について	6
4. 作業準備	7
5. 手動スプレー	8
6. 薬液及びCO ₂ ポンベの交換	9
6-1. 薬液の交換	9
6-2. CO ₂ ポンベの交換	10
7. 作業終了	11
8. 薬液について	12
9. トラブルの処理	14
10. 仕様	15

はじめに (危険防止のために)

操作及びメンテナンスに関連したトラブルの大部分は、安全上の基本的注意事項や危険予知を怠ることにより生じます。

機械のご使用にあたりましては、すべての安全上の基本的な危険防止事項や注意事項をご精読の上、必ず細心の注意を払い、人身トラブル、財産の損害、または機械の破損が発生しないように心がけて下さい。

▽ 本文中の危険防止事項及び注意事項については、下記の記号を用いて表記しています。

危険防止  危険防止	人身トラブルや財産の重大な損害につながるおそれのある危険事項を表記しています。 ご使用前に必ず読み、指示に従ってご使用下さい。
ご注意  ご注意	機械の破損、機能等の故障、または物損につながるおそれのある注意事項を表記しています。 ご使用前に必ず読み、指示に従ってご使用下さい。
注記  注記	取扱説明書に従って製品を使っていくうえで、役に立つ情報を表記しています。

本機は取り扱い責任者、または取り扱い責任者の指導のもとにおいてご使用下さい。また、それ以外の方が機械に触れることのないよう十分ご注意下さい。

お願い

1. 当社または当社の指定した者以外による取り付け、移設、改造、保守及び修理はやめて下さい。これにともなう故障・損傷・人身事故・物損等につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
2. 当社指定の純正部品以外の補修部品使用による改造、保守及び修理はやめて下さい。これにともなう故障・損傷・人身事故・物損等につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
3. この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった結果にともなう故障・損傷・人身事故・物損等につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. この取扱説明書に記載されている設置環境等、本装置の使用条件を逸脱した状況での故障・損傷・人身事故・物損等につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
5. 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社の製品が受けた故障・損傷・人身事故・物損等につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
6. 火災、地震、水害、落雷等の天災による故障・損傷・人身事故・物損等につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。

安全にお使いいただくための注意事項

〔1〕 液化炭酸ガスポンベの取扱いについて

⚠危険防止

- 車両等での機器の輸送・運搬時には、必ずポンベを本体から外して下さい。
 - ポンベを付けたままですとガス部品を破損して故障したり、ガス漏れが起こって危険になります。
 - ポンベは配管接続ナットで確実に接続して下さい。
 - 作業終了時には、必ずポンベのバルブを閉めて下さい。
 - ポンベは配管接続ナットで確実に接続して下さい。
 - ポンベのバルブはゆっくりと少しずつ開いて下さい。
 - ポンベを取り替える時は、ポンベのバルブが閉まっているのと同時に圧力計がゼロであることを必ず確認して下さい。
 - ポンベを火気に近づけたり40℃以上になるような場所に放置しないで下さい。
 - ポンベを医療用として絶対に使用しないで下さい。
 - ポンベの重量は約15Kgあります。取扱いには十分注意して下さい。
- ※その他、液化炭酸ガスポンベの取扱いは法規を遵守して下さい。
(但し、液化炭酸ガスの取扱資格は不要です。)

〔2〕 薬液の取扱いについて

⚠危険防止

- 薬液のタンクの残薬は密閉して保管して下さい。
- 薬液の主成分が可燃性の場合は、火気に近づけないで下さい。
- 高濃度アルコールをスライザー以外の消毒機で使用しないで下さい。引火の恐れがあります。

〔3〕 使用上のご注意

⚠危険防止

- スプレーガンは、人に向けて操作しないで下さい。
- スプレー時は、必ずマスク及びゴーグルを着用して下さい。
- 本製品は平らな床面でご使用下さい。

〔4〕 機器の移動についてのご注意

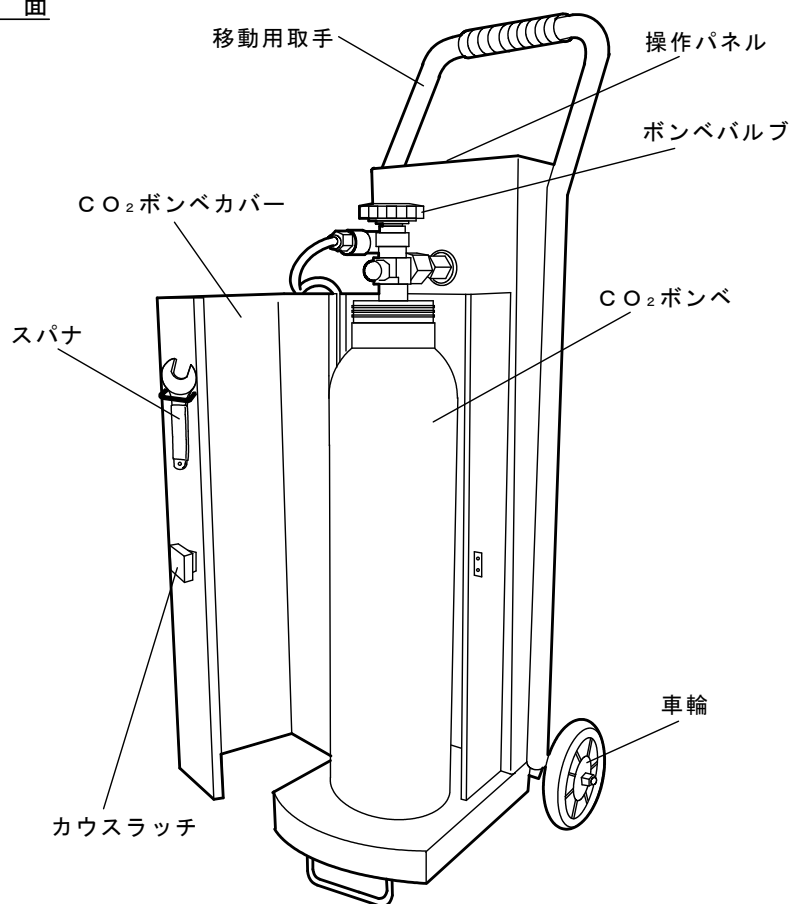
⚠危険防止

- 本製品を移動する時は、段差に気を付けて転倒しない様に注意して下さい。

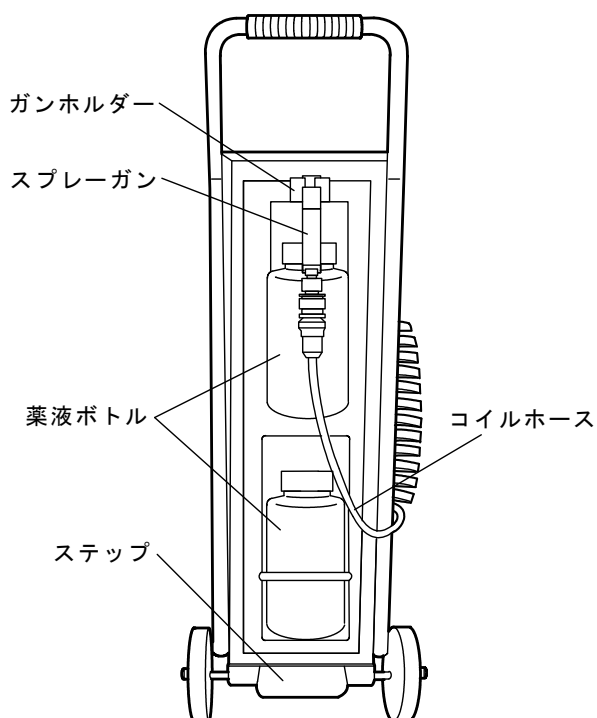
1.

各部の名称

正面



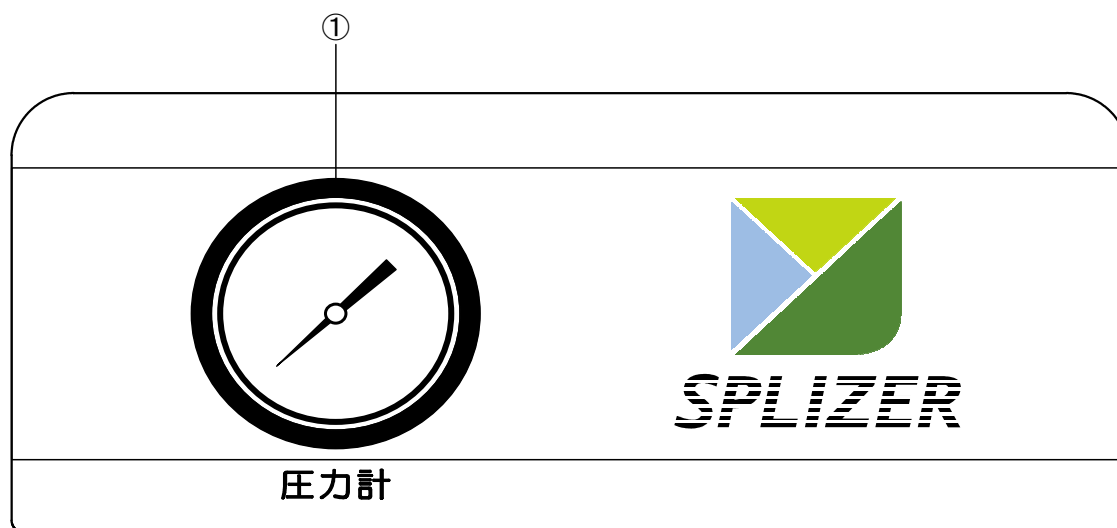
背面



2.

操作パネル部の名称とその働き

操作パネル



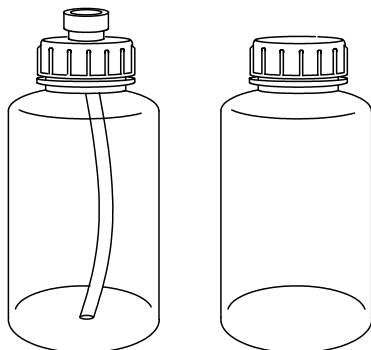
①圧力計

スプレー圧力（2次側圧力）約 0.3MPa を指示します。

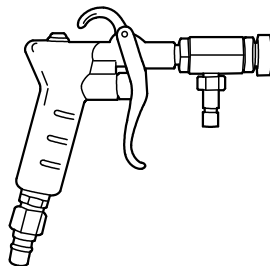
3.

付属品について

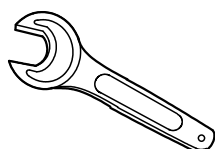
▼ 納品時に付属品をお確かめ下さい。



薬液ボトル (2ヶ)



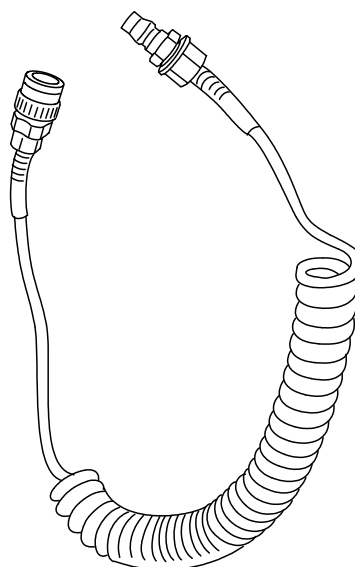
スプレーガン



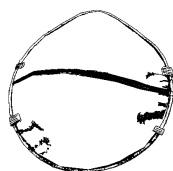
スパナ



減圧弁パッキン (2ヶ)



コイルホース



マスク



ゴーグル

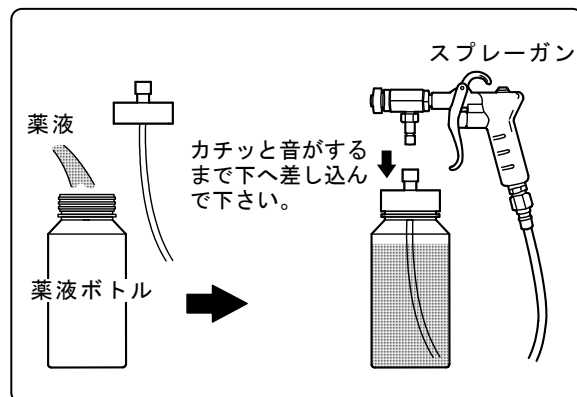
※ 尚、薬液及びCO₂ポンベは含みません。

4.

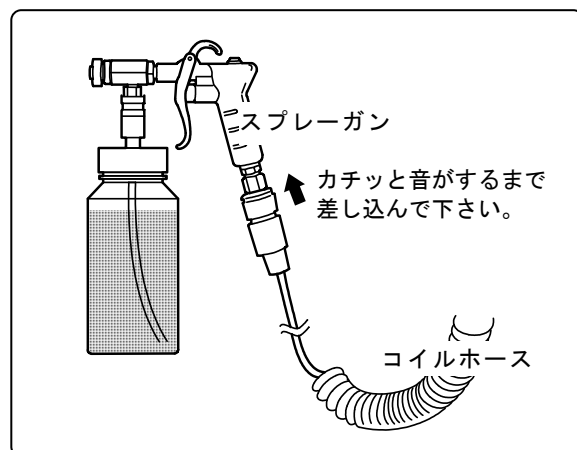
作業準備

▼ご使用になる前に下記の準備を行って下さい。

- (1) 薬液ボトルに薬液を入れ、スプレーガンセットして下さい。



- (2) スプレーガンとコイルホースを接続して下さい。



- (3) スプレーガンをガンホルダーに装着して下さい。



- (4) 各接続を点検して下さい。(スプレーガン、ポンベ接続部等)

5.

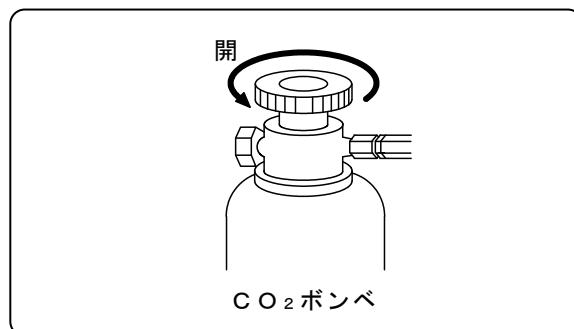
手動スプレー

▼在菌数の多いと思われる箇所に対して、手動スプレーを行って下さい。

ご注意

- ・火災報知用の火災検知器等はカバーをして下さい。スプレーにより作動する恐れがあります。
- ・CO₂ポンベのバルブは徐々に開いて下さい。急激に開きますと機器に高圧がかかり、故障の原因となります。

(1) CO₂ポンベのバルブを開けて下さい。



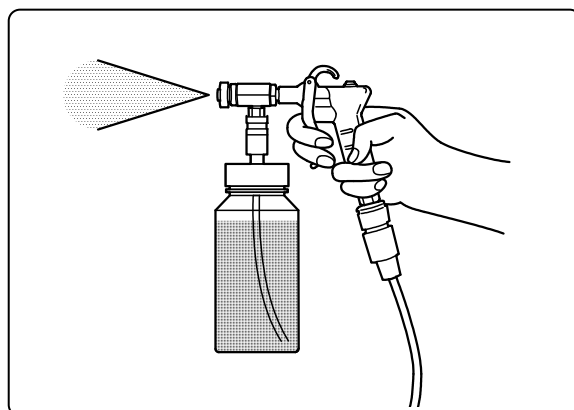
(2) スプレーガンのレバーを一杯に引き、スプレー作業を行って下さい。

●薬液消費量（目安）

60ml/分【薬液ボトル1本（500ml）で約8分のスプレーが可能です。】

注記

- ・上記のスプレー時間及び薬液消費量はあくまでも目安です。条件によっては、消毒効果が異なる場合があります。
- ・殺菌効果に関しては事前に確認の上、ご使用下さい。

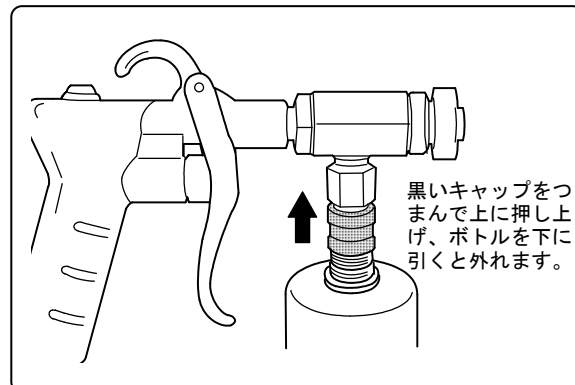


6.

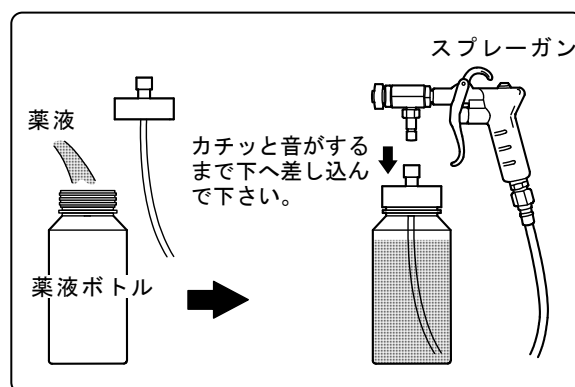
薬液及びCO₂ボンベの交換

6-1. 薬液の交換

(1) スプレーガンを薬液ボトルから外して下さい。

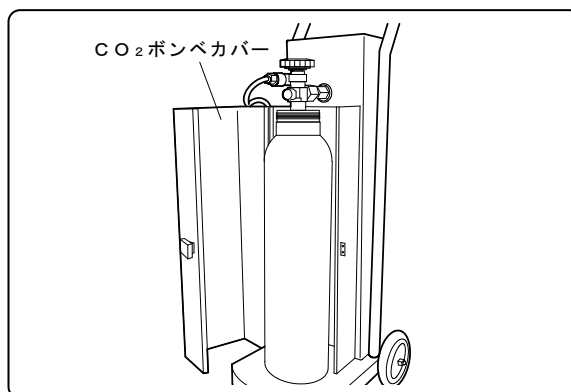


(2) 薬液ボトルに薬液を入れ、スプレーガンをセットして下さい。



6-2. CO₂ポンベの交換

- (1) 空になったCO₂ポンベのバルブが閉まっていることを確認して下さい。
- (2) 圧力計の指針が0MPaかを確認して下さい。0MPaでない場合は、「7. 作業終了」(P.11)の手順(2)を行って下さい。
- (3) CO₂ポンベカバーを開けて下さい。



- (4) 配管接続袋ナットを付属のスパナでゆるめて、CO₂ポンベから離して下さい。

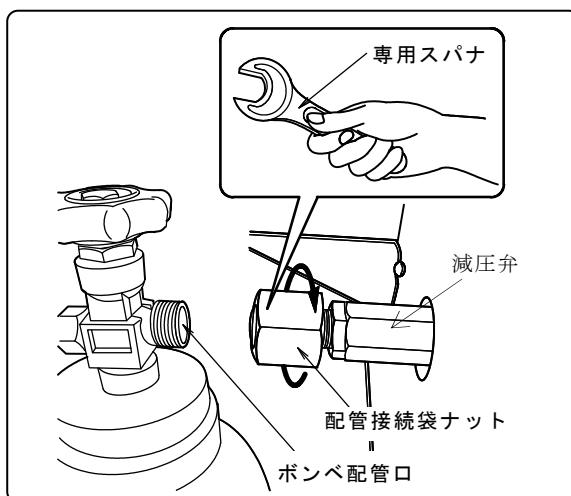
⚠危険防止

袋ナットを外す際にCO₂ポンベが転倒しないように十分に気を付けて下さい。

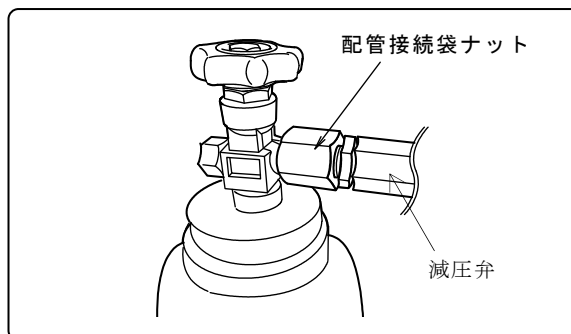
- (5) 空になったCO₂ポンベを外して下さい。

ご注意

CO₂ポンベの交換時、ポンベの接続は確実にを行い、ガス漏れの無い事を確認して下さい。接続が不十分ですと、正常なスプレーが出来ない等の故障の原因になります。



- (6) 新しいCO₂ポンベを装着し、配管接続袋ナットで確実に接続して下さい。接続の際は配管接続袋ナット部のパッキンが脱落していないか、確認して下さい。



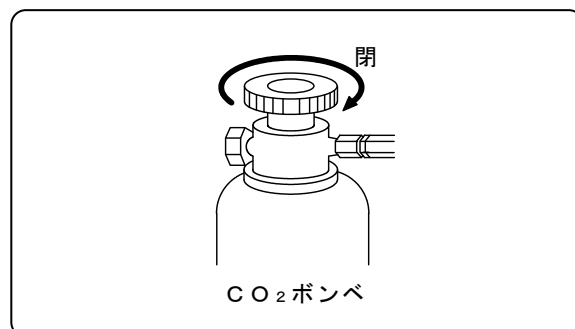
- (7) CO₂ポンベを交換して本機を使用する場合、接続部から漏れないことを確認して下さい。

- (8) CO₂ポンベカバーを閉めて下さい。

7.

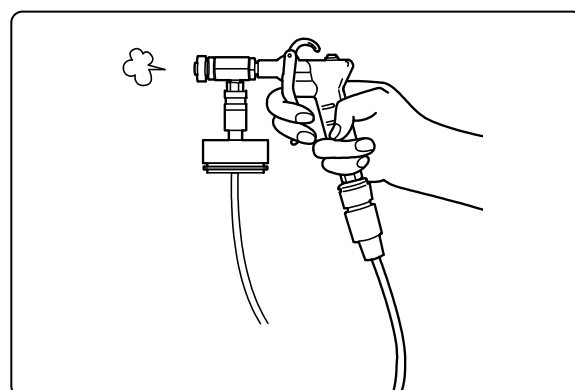
作業終了

(1) CO₂ポンベのバルブを閉めて下さい。



(2) 薬液ボトルを外して下さい。

スプレーガンのレバーを引いて、空噴きをしながら
圧力計の指針が0MPaになるまでガスを放出して下さい。



8.

薬液について

●使用薬剤・条件

- 水性のものであれば、原則的にあらゆる液をスプレーする事ができます。スプライザー（シャットノクス方式）の原理が生かされるのは、消毒効果が認められている65w/v%～80w/v%アルコールを希釈液として、各種の消毒剤を任意に混合使用できるところにあります。
- 高濃度のアルコールを希釈液として使用する時は消毒箇所の湿度は60%以上の状態にして下さい。それ以下の場合にはアルコールの効果が薄れることになります。（自動スプレーの時は特に留意する事）

●希釈対比量一覧表

	薬剤一般名	市 販 濃 度	常水希釈 薬剤一般 使用濃度	SNスプレー 希釈薬剤 使用濃度	殺菌処理	希釈用の エタノール 濃度	希釈エタ ノール量 使用濃度	緩衝液量
アルデ ヒド系	グルタール アルデヒド	10w/v%	0.5%~2%	1%	50ml	83w/v%	400ml (70%)	50ml
		IGB(新耕産業)		B液		A液		C液
第4級 アンモ ニウム 塩	塩化ベンザ ルコニウム	10w/v%	0.1%	0.65%	70ml	75w/v%	1000ml (70.1%)	
		※オスバン(武田) ※ホエスミン(藤澤アストラ)						
	50w/v%	0.1%	0.59%	12ml	70w/v%	1000ml (69.2%)		
	塩化ベンゼ トニウム	10w/v%	0.1%	0.65%	70ml	75w/v%	1000ml (70.1%)	
		※ハイアミン(三共)						
両性 界面 活性 剤	塩化アルキ ルポルアミ ノエチレン グリシン	10w/v%	0.2%	1.38%	160ml	85w/v%	1000ml (73.3%)	
		※テコ-51(日本商事)						
		10w/v%	0.2%	1.29%	45ml	75w/v%	1000ml (71.8%)	
		※テコ-51(日本商事)						
ビグ アナ イド 系	グルコン酸 クロルヘキ シジン	20w/v%	0.1%	0.68%	35ml	75w/v%	1000ml (72.5%)	
		※ヒビテンクアルコネート(ICI)						
		5w/v%	0.1%	0.65%	150ml	85w/v%	1000ml (73.9%)	
		※ヒビテン(ICI) ※マスキン液(丸石)						

●加湿スプレー水量の算出方法

高濃度のアルコールをスプレー剤としてスプレーする時は、スプレー場所の相対湿度が60%以上の場合に最も効果がある事が臨床的に判明しました。そこで相対湿度が50%以下の場合は、次の方法により相対湿度が60%以上になる様加湿調整して下さい。

◇加湿スプレー水量表（下図）の見方

簡易温湿度計で測定した温度を切りあげて5℃間隔の斜線を温度線とする。

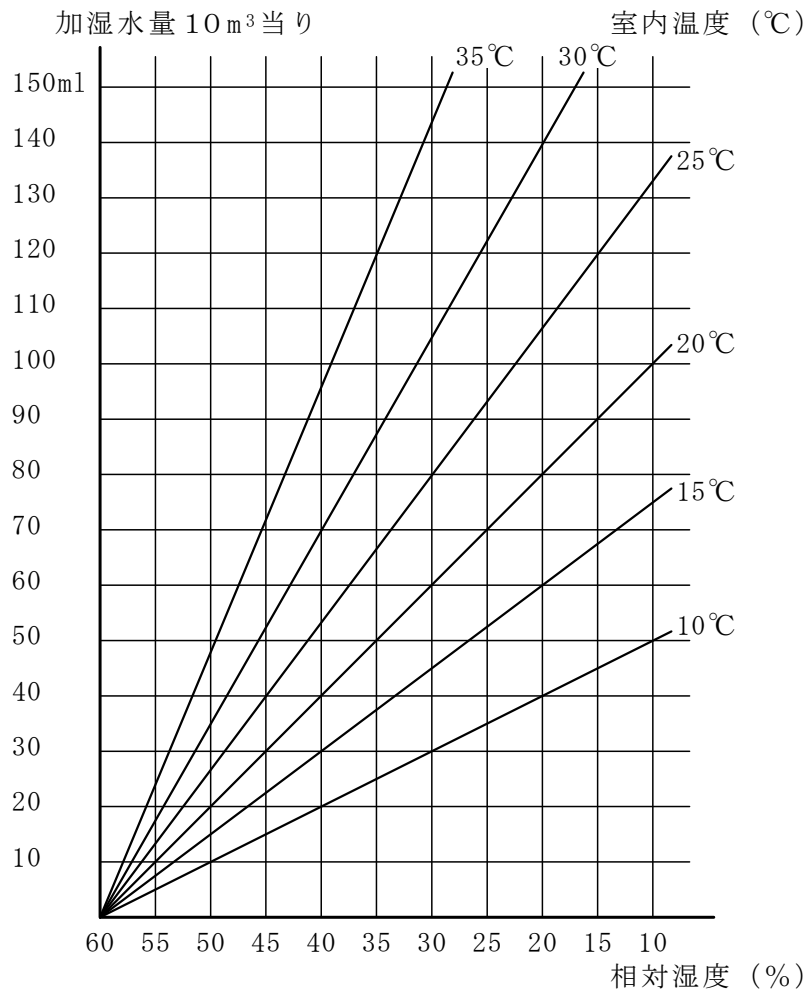
次に横軸に測定した相対湿度（%）を切りあげて5%間隔の垂線を湿度線とする。そして斜線（温度）と垂線（湿度）との交点を左側の縦目盛りに移し10m³当たりの加湿水量とする。

◇精製水のスプレー水量の計算

$$\text{スプレー水量 (ml)} = \text{読みとり水量 (ml)} \times \text{対象区画容積 (m}^3\text{)} / 10\text{m}^3$$

◇精製水のスプレー方法

- 1) 精製水のスプレー方法はアルコール等の薬液のスプレーと同じ要領です。
- 2) 精製水の1分間当たりのスプレー量は60mlが目安です。



9.

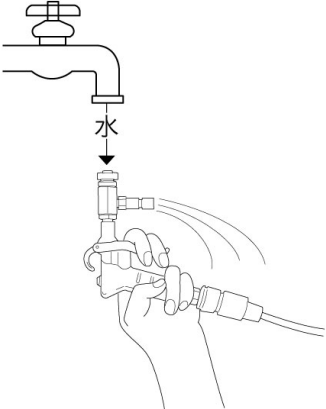
トラブルの処理

・故障とお考えになる前に

▼ご使用中に下記の現象が生じた場合は、次の項目をチェックして下さい。
 もしも復帰しなければ最寄りの営業所までご連絡下さい。

トラブル内容	チェックポイント	処理方法
圧力計が噴霧圧力(0.3Mp)を表示しない。	・CO ₂ ガスが不足していませんか？	CO ₂ ボンベを交換して下さい。
	・圧力調整不良	最寄りの営業所に修理をご依頼下さい。

●スプレーガンについて

トラブル内容	チェックポイント	処理方法
薬液が規定量スプレーされない。	・ガンの噴射口付近に薬液の残滓が固まっていませんか？	 <p>ノズル先端より水を流し込み残滓を洗い流してください。 ※ 粘性のある殺菌剤（テゴー等）入りの薬液を噴霧した後は、水またはアルコールで、清掃を念入りに行ってください。</p>

10.

仕様

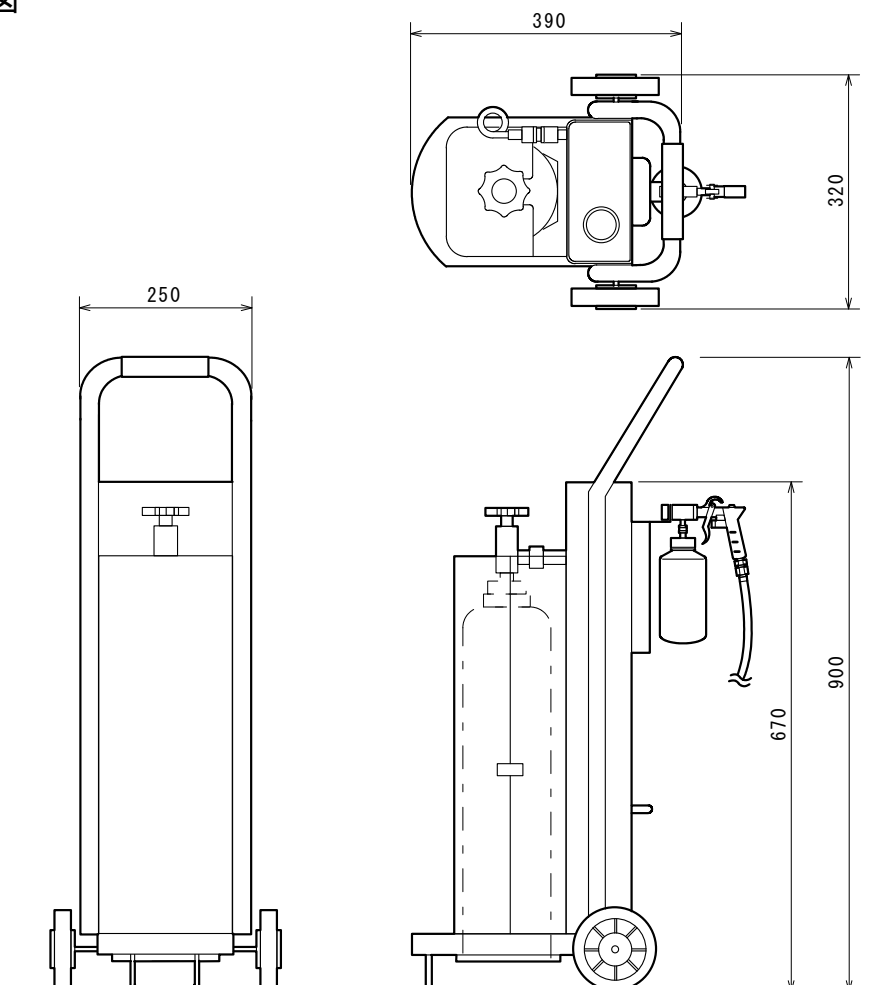
仕様

品名	超微粒子スプレー装置／スプライザー・ミニ
型式	SNA-50S
外形寸法	幅：320mm 奥行：390mm 高さ：900mm
本体重量	12kg (ポンベ含まず)
本体材質	SUS304 (研磨仕上)
薬液ボトル	500ml
薬液スプレー量	60ml/分
使用ガス	液化炭酸ガス 5kg ポンベ ※別売り
ポンベ使用時間	約80分

使用条件

周囲温度	10℃～40℃
相対湿度	30～85%

外形寸法図



株式会社薬進

大阪本社 大阪府門真市柳田町 4-17

〒571-0038 TEL06(6903)3401(代) Fax06(6903)3402

東京事務所 東京都中央区築地 2-14-1 Shinto 銀座ビル 4F

〒104-0045 TEL03(3541)3100(代) Fax03(3541)6561

当製品についてのお問い合わせ、または修理のご依頼・パーツの交換については、上記の各販売店までご連絡ください。